




生活科 2年

単元名：動くおもちゃを作って、1年生をおもちゃアイランドに招待しよう

本時のねらい	もっとよく動くおもちゃの作り方について、「もっと遠く」「もっと速く」「もっと高く」おもちゃを動かすにはどうすれば良いか他のグループのメンバーと話し合い、考えを交流させることを通して、自分の思いや願いの通りにおもちゃが動くような工夫を考えることができるようにする。
評価規準	もっとよく動くおもちゃの作り方について、おもちゃの改良方法を見付け、自分の思いや願いの通りにおもちゃが動くような工夫を考えることができる。
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムの数を増やしたり、ゴムを太くしたりすると、もっと遠くまで飛びそうだね（見付ける）。</li> <li>・風が当たる面を大きくすると進みそうだからやってみよう（試す）。</li> <li>・車の長さが長いと進みにくいから、ちょうどよくするといいいよ（比べる）。</li> </ul>

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
4分	<p>※ゴム、風、磁石それぞれのメンバーが入ったグループを作っている。</p> <p>1. 前時の振り返りをし、本時のめあてを確認する。</p> 	<p>○前時に活動の中で出てきた、上手くいかなかったことや困りを振り返り、それを基に本時のめあてを確認することで、本時の見通しを持つことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りを、教室に貼っている掲示を基に行うようにする。</li> <li>・友達からアドバイスをもらって困りを解決し、もっとよく動くおもちゃを作りたいという思いを持つことができるようにする。</li> </ul>	iPad (ロイロノート)、設計図、ノート、おもちゃ
<p>めあて ほかのグループの友だちからアドバイスをもらって、もっとよく動くおもちゃの作り方を考えよう。</p>			
16分	<p>2. もっとよく動くおもちゃにするためにはどうすれば良いか話し合う。</p> 	<p>○もっとよく動くおもちゃにするためにはどうすれば良いかグループで話し合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合う視点を、「もっと遠く」「もっと速く」「もっと高く」おもちゃを動かすにはどうすれば良いかというように焦点化できるようにする。</li> <li>・動きだけではなく、「もっと楽しく」等、1年生を楽しませるためにはどうすれば良いかも視点に入れるようにする。</li> <li>・動画を見せ、アドバイスをもらう順番（1～4）を決め、1の児童からグループのみんなに伝えるようにする。</li> <li>・現時点での自分の困りやうまくいかないことをノートに書き、それを友達に伝え、アドバイスをもらうようにする。</li> <li>・おもちゃを作ったり動きを確かめたりした時の動画を基に発表したり、実際に完成したおもちゃに触れたり見たりすることで、もっとよく動くためにはどうしたら良いか様子を思い描けるようにする。</li> <li>・何をどのように変えるか、改良点を設計図やノートにメモしておくようにする。</li> </ul>	iPad (ロイロノート)、設計図、ノート、おもちゃ

		<ul style="list-style-type: none"> <li>途中で、数名の児童にパタパタ車の改良方法や改良後のおもちゃの動きなどを説明させ、改良方法を迷っていたり、どう伝えたら良いか分かっていなかったりする児童が参考にできるようにする。</li> <li>※話し合いが滞っているグループには、材料を見せたり触らせたりして、どんなおもちゃの動きになってほしいかを想像させる。</li> <li>※話し合いが早く終わった児童には、おもちゃを使ってどうしたいか尋ね、思考がお店作りに向くようにする。</li> <li>◎もっとよく動くおもちゃの作り方について、おもちゃの改良方法を見付け、自分の思いや願いの通りにおもちゃが動くような工夫を考えることができる。 &lt;ワークシート・タブレット端末&gt;</li> </ul>	iPad (ロイロノート)、設計図、ノート、おもちゃ、ホワイトボード
17分	3. おもちゃグループで集まり、もらったアドバイスを試す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おもちゃグループで集まり、グループでの話し合いでもらったアドバイスを試すようにする。</li> <li>・話し合いでもらったアドバイスを試すようにする。</li> <li>・実際に試して思ったことや考えたことをホワイトボードに書くようにする。</li> </ul>	iPad (ロイロノート)、設計図、ノート、おもちゃ、ホワイトボード
5分	4. 試した感想が書かれたホワイトボードを黒板に掲示し、全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試して思ったことや考えたことを全体で共有するようにする。</li> <li>・アドバイスを試し、思ったことや考えたことが書かれたホワイトボードを黒板に掲示し、全員が分かるようにする。</li> <li>・「増やす」、「大きくする」、「軽くする」など、4つのおもちゃに共通することを確認するようにする。</li> </ul>	
3分	5. 本時の振り返りを行い、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習を振り返り、次の時間にやってみたいことなどを全体で共有できるようにする。</li> <li>・自分の困りやうまくいかなかったことが、話し合いや試してみてもうなったかを基に振り返りを行うようにする。</li> </ul>	

### 1人1台端末の活用は効果的であったか

- 旋律シートを1人1台端末で操作したが、何度も試したり改良したりしやすく、児童が根気強く取り組むことができた。
- 旋律シートを授業終わりに提出箱に入れていたため、前時との変化を見ることも可能であった。
- おもちゃの動きを動画に撮り、それを見ながら話し合いをしたことで、アドバイスがより具体的になった。
- ▲提出させた旋律シートを共有する際に、テレビに映すだけでなく全員が自分の手元で確認できるようにする等、アイデアを効果的に共有するための最適な方法を考える必要がある。
- ▲おもちゃの動きが途中画面から消えてしまい、最後まで見ることができない児童が居たので、動画撮影の工夫が必要である。